

居眠れる 獅子は目ざめぬ

三国丘サッカークラブ通信



SINCE 1916
MIKUNIYAMA S.C.

Vol.24

Jun. 2017

〒590-0023
堺市堺区南三国ヶ丘町2-2-36
三丘同窓会事務局内
三国丘サッカークラブ 発行
TEL/FAX 072-238-3093
<http://mikunifc.jimdo.com/>



新たな100年への第一歩！引き続きご協力をお願いいたします！



ご挨拶

会長：田守 恵幸（高16回）

三国丘サッカークラブの会員の皆様には益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。平素はクラブ運営に関してご協力をいただき誠にありがとうございます。

創部100周年の記念事業も昨年皆様のご協力のおかげで無事終わる事ができました。100年という長い歴史を築いてこられたのも堺中学校から三国丘高校の部員一同の熱い情熱と、団結力の賜物と心から感じた次第でございます。

さて今年新たな100年の第一歩の年になるのですが、この伝統を守り更に躍進していく為にも三国丘サッカークラブの多面にわたる充実を計っていきたくと考えています。

まず第一に現役チームへの支援から考えています。現役とのコミュニケーションを密にし、保護者会とも一体化してサポートを強化していきたいと考えています。今年3月1日の卒業式の後、卒業生部員とOB役員との懇談会をし、三国丘サッカークラブ入会の説明をしました。高校3年間のサッカー部生活が各個人のこれからの人生にとっていかに大きな力となっているかという事など、経験談として話させてもらいました。また今年も有望な新入生が多数入部してきております。新チームとの懇談も計画し100年の伝統を持つ我がサッカー部を認識してもらい誇りを持って頑張ってくれるように伝えたいと思います。

練習グラウンドの確保の件ではJ-GREEN堺の人工芝グラウンドの使用をできるだけ多くしていきたいと考えています。若手OBの活動参加を促す為に学年リーダーをお願いしている各年代のOBとの懇談会も6月に行う予定をしています。このようにまず当面できる事から活動をしていきたいと思っております。

会員の皆様方の益々のご協力よろしくお願ひ致します。



2017年1月2日に記念碑前にて撮影

初蹴り・OB会報告

平成29年も1月2日に恒例の初蹴りを行いました。今年は101年目、80名強のOBに現役選手とマネージャーも加わって多に盛りまりました。

昨年の創部100周年記念として設置された記念碑を囲んで集合写真を撮りましたが、殆どのOBが初めて見る碑に100年の歴史の重みを感じ取りながら、2世紀目の第一歩を踏み出しました。

初蹴り終了後、場所を三丘同窓会館2階会議室に移し、OB総会を開催。平成28年度の事業実施報告（創部100周年記念事業を含む）を承認、引き続いて平成29年度の事業計画が承認され、力強く101年目を踏み出しました。

文：畑 拓興（高22回）



創部100周年記念事業決算

収入の部		支出の部	
募金	3,679,000	記念祝賀会費用	1,073,345
記念誌広告	950,000	記念誌費用	1,997,593
記念誌売上	66,000	記念試合費用	115,320
記念祝賀会会費	730,000	記念碑費用	1,214,775
竹ノ上氏寄付金	1,500,000	現役支援費用	1,023,016
祝金	310,000	記念品代	250,160
Tシャツ売上	7,500	事務費	331,009
		剰余金	1,237,282
合計	7,242,500	合計	7,242,500

平成28年度 会計報告

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	237,240	サッカー通信関係費	93,562
年会費	509,970	初蹴り総会関係費	30,446
Tシャツ売上	3,000	三丘体育会費	157,716
寄付金	24,000	OBチーム関係費	141,000
利息	31	現役活動補助金	50,000
コンパ賞金	50,000	会議費	43,470
		事務費	4,011
		慶弔費	35,672
		その他	37,980
		次年度繰越金	230,384
合計	824,241	合計	824,241

* 決算期間2016.1.1~2017.3.31（年会費92口）
* 2017年5月27日に監査委員（藤井武夫氏）に署名捺印頂きました。

三国丘サッカークラブ会則第11条に基づき、平成29年8月13日（日）の川淵杯試合終了後にJ-GREEN堺にて、臨時総会を開催します。

つきましては、会員各位におかれては、臨時総会へご出席をお願い申し上げます。臨時総会における審議事項は、次の現役強化にかかわる事項です。

- ①現役強化のために使用する「現役強化基金」を一般会計とは別に新設する。
 - ②創部100周年記念事業において発生した剰余金（約123万円）を「現役強化基金」に充当する。
 - ③現役強化を将来的に発展させるため、年会費とは別に「現役強化寄付」を新たに設けて、「現役強化基金」に充当する。
- *役員会において、「現役強化寄付」の金額・新設時期、現役強化のための具体策（Jグリーン使用、合宿など）等を現在検討しております。

文：種田 裕一（高21回）

現役活動状況

2016年U18	9勝8敗1分	4位
2017年U18	4勝5敗	6位
（前期終了時点）		
平成28年ウチカップ	3位リーグ	1位
平成29年ウチカップ		
和歌山工業高	3対1	○
浪速高	2対3	●
平成29年 春季大会		
大阪暁光高	1対0	○
富田林高	1対1（PK8対7）	●

4月16日の富田林戦（春季大会2回戦）をもちまして、70期生である3年生全員で臨む公式戦は幕を閉じました。実力ではこちらに分がある試合内容でしたが、やはり昨年の選手権大会と同様に、あと1点の追加点が取れず、同点に追いつかれ、PK戦で敗退となりました。

3年生の多くは6月10日（土）の牧野高校の試合をもって引退する予定です。有終の美を飾るために練習に励む一方で、4月に入学した1年生から新入部員19名が加わり、3年生の抜けた穴を埋めるためにチームづくりを進めております。今後とも応援よろしくお願ひいたします。

文：田中 洋平（顧問）

第24回川淵杯

泉陽高校定期戦のお知らせ
8月13日（日）15:00~19:00
J-GREEN堺（人工芝）にて開催

今年度は泉陽高校OBの担当で開催されます。人工芝1面（S7）及び、フットサルコート1面（F1）が確保されています。終了後には、例年通り、クラブハウスレストランで懇親会が開催されますので、是非こちらも多数のOB・OGの皆さんの参加をお待ちしております。

*試合スケジュールについては、決定次第、ホームページに掲載いたします。

事務局だより ～年会費納入のお願い～

平成29年度の年会費につきまして、ご納入を頂いておりますが、まだの方はご協力をお願いいたします。

平成29年度(1月～12月)

※平成28年度を含む過年度未払い会費についての納入に是非ともご理解ご協力をお願いいたします。

(年間) 3,000円

※納入いただきました会費は、現役の強化、OB会活動に使わせて頂いております。

*郵便払込用紙(手数料無料)をご利用ください。



サッカー部OBで、長らく三国丘高校で教鞭をとりながらサッカー部の顧問を務められました、馬越敏行様(高12回)が、2017年2月27日の早朝にお亡くなりになりました。ここに慎んで哀悼の意を表します。

昨秋の創部100周年記念式典では馬越先生と久々にお会いでき、同期メンバー何人かとは卒業以来の再会となり、大変嬉しく貴重で有意義なひとときを過ごすことができました。その余韻が冷めやらない中突然届いた馬越先生の訃報…。

先生の思い出を「厳しい指導者」として語る同期メンバーも居ますが、マネージャーには違った面も見せてくださっていたように思います。高校当時の部活動中も、私が全く畑違いのジャズシンガーとして活動していた頃の交流でも、先生はずっと絶妙な距離感で優しい気遣いをし続けてくださる「ジェントルマン」でした。愛娘さんと共にライブに足を運んでくださった際には微笑ましい父親としての姿を見せてくださり、凛々しいアスリートで立派な教育者であるだけでなく、人間としてもとてもチャーミングな方だったと思います。

式典で「またゆっくり会いましょう！」と言ってくださったのに、叶わなくなって本当に残念です…。心よりご冥福をお祈りいたします。(文：古閑 みゆき)



古閑さん(高29回)は左から2人目

三国丘SC活動報告

平成29年度は、堺サッカー連盟主催の社会人リーグ(1部)に加え、新たに発足された大阪市社会人リーグに参加、活動中です。両リーグとも大阪府サッカー協会登録者でも参加できますので、是非OB・OGで、サッカーを楽しみたい方、お待ちしております。お問い合わせは、クラブ役員までお問合せ下さい。

■三国丘SCチーム問い合わせ先■

- 田守 恵幸(高16回) 090-3284-7382 shigeyukitamo@yahoo.co.jp
- 小孫 英樹(高21回) 090-1141-9144 h-komago@komaq.jp
- 畑 拓興(高22回) 090-8790-5791 takuhata@bea.hi-ho.ne.jp
- 池側 正(高28回) 090-1025-2500 Ikegawat@gmail.com
- 立川 新太(高50回) 090-6664-4485 tachikawa@aw.em-net.ne.jp

訃報

小島 義和さん(高10回)
ご冥福をお祈りいたします。

FA-CLUBによろこそ！ 一部活に乾杯！

4月10日夜にJFAハウスで行われ、三国丘OBから川淵君に大西、米田君、隅井君、池側君(大阪から)、伊藤君計6名が出席した。浦和高校OBからは、浅見さん、響田さん、村井Jリーグチアマン、松本筑波大学元サッカー部監督(井原、長谷川、風間、中山などを育てた)計4名が参加した。小宮悦子さんが司会し、田嶋サッカー協会長、奥寺氏も参加し日本サッカー界のハイレベルのサロンとなった。

三国丘OBがゲストとなって、我々の名門ぶりを語る映像が多く映され(例の決勝戦、100周年記念行事など)驚きながら感動した。部活の思い出や意義について話しあって盛り上がったが、今の日本の部活について①「営利化」、②「管理化」、③「OBとの断絶」、④高校サッカー部の部活をJリーグがアカデミーと掛け併せて活用する余地があるのでないか、⑤高校サッカー部のOB会が他のクラブのOB会と力を合わせ地域スポーツクラブ化する可能性について、⑥高校サッカー選手はサッカーのみならず複数のスポーツを経験するべきでないか…という問題提起があった

③について米田君、⑥については池側君が提案して、田嶋会長や村井チアマンも大いに興味を示し、村井チアマンは池側君に「電話をください」などと声をかけるほどだった。現役の強い弱みだけでなく、OB会の充実によって日本サッカー界で三国丘サッカークラブが存在価値を高めることが可能でないか(響田さんが「校庭にサッカー部の記念碑があるのは、日本いや世界にないのではないか」などと発言し、その前にも私にしきりに自校OB会と比較して評価していた。決して自賛することはないが、自信をもってよいところもあるのではないか)。

岡野元サッカー協会長、IOC委員(FA-CLUBの創始者)を偲ぶ会も行われ、東大のチームメイトだった浅見さんがリスペクトに溢れた思い出を語った。

文：大西 宏(高4回)

保護者会報告

平成29年5月21日(日)に保護者会総会が47名の出席のもと開催されました。

現役部員のビデオ紹介も行われ大いに盛り上がりました。新会長には井原氏、会計には栗田氏、ブログ担当には中川氏・明石氏が選ばれました。

総会終了後、保護者の方と100周年記念碑の前で写真を撮りました。

文：棚橋 敬(高24回)



第38回 三丘体育会 ゴルフコンペ参加報告



第38回三丘体育会ゴルフコンペは、5月17日(水)聖丘カントリー倶楽部(東・中コース)にて、晴天に恵まれ開催されました。参加者は総勢86人で、サッカー部の参加者は10人でした。

サッカー部は団体戦(上位4人のグロス計)にて、山下成信(高26回)、小川秀三(24)、河合潔(21)、高田篤(34)の活躍で第3位(342ストローク)となりました(昨年は優勝)。

なお、来年は2018年5月17日(木)に開催予定です。 文：種田 裕一(高21回)



三丘サッカー東京の新年度の体制と方針

- 【体制】**
- 会長 大西宏(高4回)
兼 東京サロン、対サッカー界など担当
 - 幹事長 米田和威(高27回)
兼 対大阪本部、ゴルフなど担当
 - 事務局長 吉田 仁(高38回)
兼 シニアサッカーなど担当
 - 幹事 小林二郎(高8回)
兼 シニアOBなど担当
 - 幹事 伊藤順司(高41回)
兼 ヤングOBなど担当
 - 幹事 常盤哲郎(高46回)
兼 ヤングOBなど担当

*生みの親で長年全力を傾けて幹事長を務めていた浜崎勝久氏(高9回)が、健康上の理由で退任されました。同氏の多大な功績を心から讃えたいと思います。

- 【方針】**
- (1)体制の拡充=若返りと大阪との連携強化
 - (2)シニアサッカーを積極推進する
 - (3)コミュニケーションを強める
 - ①シニアサッカー ②ゴルフ
 - ③三丘サッカー東京サロンの開設
ビジネスやその後の人生について自由に楽しく語らうナイトサロンをトライする。
 - ④同期会、チームメイト会(自由に開催)
 - (4)母校や郷土へ恩返しと未来への「愛」

三丘サッカー東京が「東京サロン」開催！

参加者(敬称等略)
米田・隅井・玉谷・松井・長尾・藤木・伊藤・大西

三丘サッカー東京では、今年のビジョンの「コミュニケーションを強める」の一環として3月9日(木)に「東京サロン」を開きました。第1部は「情報交換」、第2部は「自由懇談」でした。今回は50代が中心、内容・寸感は次の通りで、同郷で同高校で同クラブOBだからこそそのコミュニケーションで大変楽しいものでした。

1. 職場・企業について
現代の所属企業が、①競争力を強めるやり方と、②文化貢献をしている状況をかいま知ることができました。
2. 生き方・働き方について
各OBの①50代だから会社を背負っている重圧を楽しんでいる風だったのは頼もしい。
②よく言われる空白の50代とはせず、今の仕事を充実させなおかつ定年後に備えるビジョンとい意気込みが窺えた。
今後、事情が許せば、60代、40代、30代、20代と広げたい。(代表世話人：大西 宏)